

個々の学生が輝く教育方法の開発をめざして

薬学科（身体運動科学分野） 窪田 辰政

●連絡先 TEL：054-264-5491 FAX：054-264-5491

キーワード

自己効力感、心理的サポート、成功体験、SAT法、教授法

教育現場における課題として、勉強やスポーツといった活動において、時として学生の自信度の低さが観察される。自信の喪失は、意欲低下や失敗経験の要因となり、さらなる自信度の低下を招きかねない。

自信を育む教育介入として、筆者は学生への心理的サポートに着目・実践し、心理学や教育学の専門知識を必要としない、実用性の高い教育法の開発を試みた。その結果、テニスのような実技科目や、ゼミでの文章力向上など、多様な分野において成果が得られた。

大学時代までの自信の積み重ねが、社会に出た後も自発的に挑戦し、成長する学生を育てることに繋がる。今後も学生が自信をつけられるように教育イノベーションに取り組み、自ら心身の健康と成長を管理できる学生を育てたいと考えている。

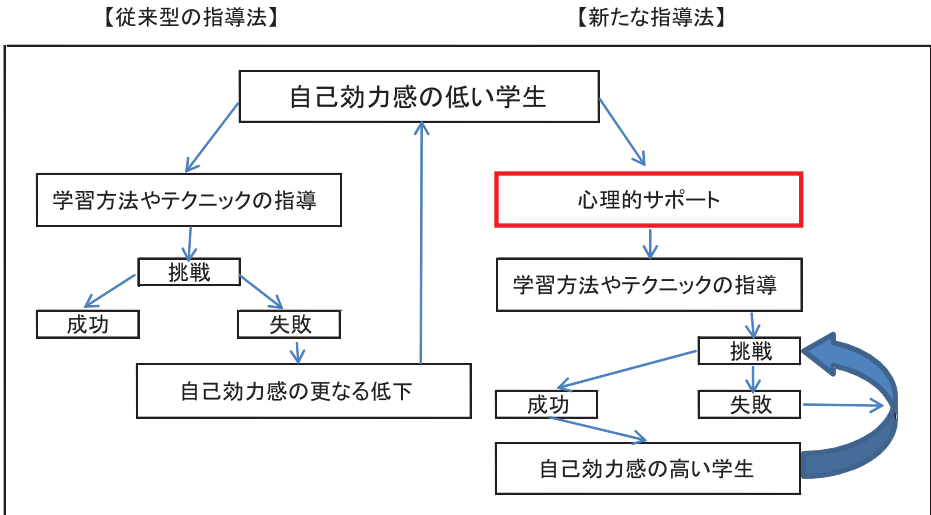


図1 自己効力感を育む教育方法(©窪田辰政, 2012)

アピールポイント

健康運動心理学を背景とした教育に関わる講演や相談など、一定の協力はできる。